

# ボールの特性レポート BALL REPORT



ボール名 <b>アキュライン・ツアープレミアムナイン</b>	投球者 <b>徳江 和則</b>	センター <b>平和島スターボウル</b>
RG <b>2.460</b>	△RG <b>0.055</b>	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

**テストボール：アキュライン・ツアープレミアムナイン**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  4 インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

**比較対照ボール：アキュライン・ツアープレミアムエイト**

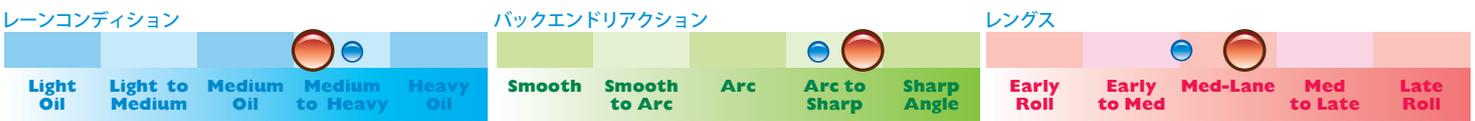
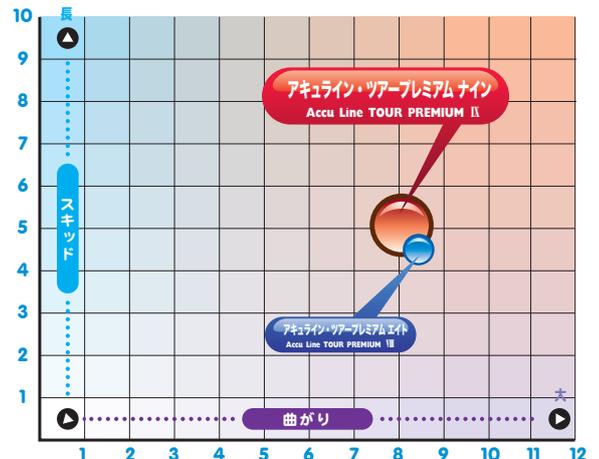
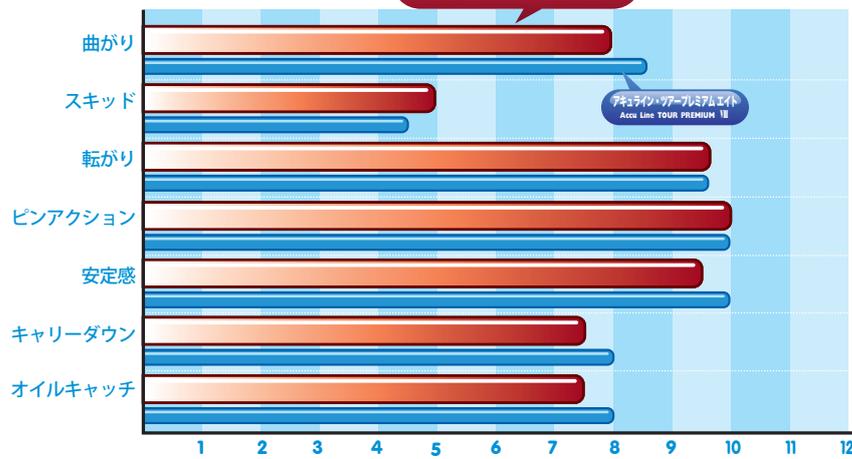
フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  4 インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



## ボールの評価

TOUR PREMIUMシリーズの中でも、異例とも言える支持を集めた存在——それがTOUR PREMIUM 8です。Nano-Bond Level 5.0 Pearlが生み出す、圧倒的なキャッチと揺るぎないバックエンドリアクション。そのキャッチと曲がりのバランスは極めて完成度が高く、多くのボウラーに「こんなボールが欲しかった」と言っていただきました。発売から時間が経った今なお再販を望む声が絶えないという事実が、このボールが単なるヒット作ではなく、実戦で“信頼され続けてきた性能”であることを雄弁に物語っています。

そのTOUR PREMIUM 8の成功をもとに次なる一手として投入するのがTOUR PREMIUM 9です。しかし本作は、TOUR PREMIUM 8の焼き直しでも、単なる性能アップ版でもなく、むしろ、TOUR PREMIUM 8を使い込み、レーン変化と真正面から向き合ってきたボウラーほど、その存在意義が明確に理解できる設計となっています。

最大の変更点は純粋なほどのカバーストックにあります。前作のNano-Bond Level 5.0 Pearlから、あえてNano-Bond 4.0 Pearlへ。この選択は、一見するとスペックダウンに映るかもしれませんが、ここにこそABSの明確な設計思想があります。

Nano-Bond 4.0 Pearlは、手前のスキッド性能を高め、オイル上での直進性と安定感を強化。TOUR PREMIUM 8で「少し手前が捕まり始めた」と感じるコンディションにおいても、無理に投球を変えることなく、自然にラインを外へ移行できるスムーズさを備えています。

だからといって、リアクションが大人しくなったわけではありません。ミッドレーンで余計な摩擦が生まれぬ分、奥での動きはむしろクリアで読みやすいです。特筆すべきは、TOUR PREMIUM 8からTOUR PREMIUM 9へのスイッチ性能の高さで、同じNanoシリーズならではのフィーリングを共有しつつ、役割は明確に分かれているため、バッグの中で違和感なく共存できます。TOUR PREMIUM 8でキャッチが先行過ぎる、先の動きがもたつく——そんな瞬間にTOUR PREMIUM 9へ持ち替えたとき、レーンが再び整理される感覚を、多くのボウラーが体感するはず。

## 特記事項

**ナノデスを知り、TOUR PREMIUMを信頼してきたボウラーにこそ投げてほしいこの一球は、TOUR PREMIUM 8と共に使われたとき、真価を発揮します。**